

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

皆様こんばんは。

当ブログ「らくだ図書館」は、おかげさまで、開設 13 か月を迎えました。

まずは毎月恒例、電子書籍のご案内。

今月からは、表紙が青くなりました。

<らくだ図書館 (13)>

<http://p.booklog.jp/book/65321/>

それから、投稿歴のページに一次落ちの経歴 (!) を書いたので、よろしければメニューバーからお進みください。

どうして落選歴をわざわざ披露するかっていうと、常木らくだが深刻なド M だからではなく、一次落ちは恥ずかしいことではないと思うからです。

投稿に全力を尽くして、それでも落ちてしまったら、それはもう仕方のないこと。

例によってマリミテの話をしませんが、『未来の白地図』で祐巳が瞳子に振られた時、祥子さまはこう言っています。

「胸を張って。断られたことは、恥ずかしいことではないわ」

そう言って祐巳を励ました後、一緒に泣いてくれる祥子さま。

この台詞、大好きなんですよ。

たぶん中盤のマリミテの中で、一番好きなシーンかもしれません。

とにかくまあ、今後もブログは更新しますので、これからもよろしくお願いします。

まだ始まったばかりですが、2013 年も引き続き、投稿ライフをエンジョイしましょう！

スーパーダッシュの二次発表がありました。

昨日の一迅社に引き続き、二夜連続の落選コンボか……。  
今夜はもう飲むしかないな……。

そんな心境で見に行ったのに、自分の名前が載ってるううー！

というわけで、SD 二次通過しました。  
前回の電撃に引き続き、人生で二度目の通過です。

いやあ……。

自分は小説投稿を始めてから三年間、本当に一度も二次の壁を越えたことがなく、それがすごくイヤだったんですよ。

やっぱり、ほら。

人それぞれにペースがあるとわかってはいても、「初投稿で三次通過」とか「二回目の投稿で最終」とか聞くと、「ああ、自分は才能ないんだ」と考えちゃうわけで。

でも今になって思えば、続けてきてよかったな、と。

もちろん受賞しなきゃ意味がないことは理解していますが、四年目になって二次通過できるようになったことは、ただひたすらに嬉しいです。

今年もこの調子で、レベルを上げていきたいですね。  
自分の長所は伸ばしつつ、短所は直しつつ、作品全体のレベルアップを。

というわけで、今日はマジ語りな内容でした。

これで弾みもついたので、春の締切りラッシュに向けて、気を引き締めて頑張ろうと思います。

今年こそ玉砕覚悟でビーンズに送っちゃう！

そう思って要項を再確認したんですが、カバーシートの必要記入事項の中に、「サイトをお持ちの場合はサイトアドレス」ってあるんですよね。

はい、先生！

らくだ図書館は「お持ちのサイト」に含まれますか？

これ、真面目にどうなのでしょうね。

自作のウェブサイトではない、ブログも含めていいのかどうか。

あと、「原稿用紙3枚のあらすじ」ってあるけど、これは原稿用紙に手書きするんじゃなく、40字×30行で印刷しちゃっていいのかな？

あとあと、データが必要なのは本文のみで、カバーシートのデータは不要なんだよね？

……等々、初めて送る賞は疑問がたくさん。

なんか、アレじゃないですか？

初めて送る賞で一次落ちすると、「要項間違ってた？」って思いませんか？

自分の作品がつまらなかったと素直に認めることができず、どうしても「何か規定違反で落とされたのかも」と勘ぐってしまう、そんな疑心暗鬼ワナビです。

とにかく、ビーンズに初投稿する予定なので、通ってくれると嬉しいな。

あ、落ちても情けは不要ですよ！

自分、一次落ちには相当な耐性がありますから！

あと、なろう大賞にも参加するつもりなので、並行して準備を進めていこうと思います。

今日外出から帰ったら、自分の部屋のそこら中に、ピーナッツがまき散らされていたんですよ。

ああ、ついに……。

こんな嫌がらせを受けるほど、家族に嫌われてしまったのか……。

そう思って落ち込んでいたら、通りかかったらくだ母いわく、  
「今日は節分でしょ？ あんたの部屋、豆まきしてあげたから」

ちょっ！

豆まきって、これピーナッツ……！

いやまあ、確かに豆っちゃ豆だけど……！

詳しく尋ねたところ、母の実家の近くにあった神社では、節分にピーナッツをまいていたらしいです。

地面に落ちた豆を食べると、お腹を壊してしまうので、衛生面を考慮して殻つきのピーナッツをまくんだとか。

ホンマかいな！

どこやねん、その神社！

地面に豆が落ちていれば「邪気を払った感」が感じられますが、部屋の中にピーナッツが転がっていても、単に落ち着かないだけですよね。

とにかく、この広い世の中には、そういう神社もあるらしいです。

そんなこんなの、節分ナイトでした。

まあ、その話は出まかせで、本当は嫌がらせだったのかもしれませんが……。

春は一年で一番のラッシュだというのに、春の締切りと関係ない執筆予定を、一つ計画に入れてしまった……。

でも、書きます。

書きたい時が、上手い時です。

本当は後回しにもできるんですが、これをしっかり書き上げたら、今後投稿していく上でプラスになると思うので。

無事に完成したら報告しますので、その際はどうぞよろしくお願いします。

どうだろうなあ……。

内容は決まっているから、2月中にはできるかなあ……。

しかし問題は、今週のなかばに、「ドラクエ7」という刺客がくること。

開封したら最後、春の予定が総崩れすることは、目に見えている。

だが、しかし！

ドラクエ7を机の奥に封印しても、今週末には「四大陸フィギュア」が！

規模の大きい国際試合は、内容を覚えるまで録画を見返すので、試合後しばらくは執筆時間が取れなくなるという……。

いや、まあね。

別に強制されているわけではなく、完全に自分内ルールなんです。

まあ、とにかく。

もしも今週末ブログの更新が途絶えることがあったら、「らくだはドラクエと四大陸に負けたんだな」ということで。

そうならないように、今日は自分に予防線を張りました。

とにかくにも、意地でも今月中に書き上げてやるぞ……！

このブログにしか書いていないメールアドレスに、SEO 対策に関する広告メールが送られてきました。

???

☆マークで対策してるのに、わざわざ手入力したのかな？

広告メールは迷惑ですが、こんな辺境ブログまでわざわざやって来て、手動で広告を送信したかもしれないと思うと、ちょっと胸熱な気分になってしまうから不思議ですね。

それはそうと。

今週から書き始めたものが、いつになく好調な感じです。

80 枚の予定だけど、この勢いなら、二週間で終わるかも？

何しろ春締切りの他の作品を押しつけて、優先順位の最上位に一気に飛び出すくらい、「書きたいブースト」がかかった内容なので、執筆が好調なのは当然といえば当然なんです。

というか……。

このブーストを、自分で狙って使えば、もっとラクになるんですけどね……。

いつどこで発動するかわからないブーストは、他の計画を狂わせるという意味では、非常に危険な存在でもあります。

ただやっぱり、書きたいブーストがかかった文章は、うんうん唸りながら書いた文章に比べて、いい内容になっていることが多いんですよね。

そういうわけで、今はこれをちゃんと仕上げ、その後春の計画に戻ろうと思います。

ちなみに春の計画は、なろう ⇒ ビーンズ ⇒ 電撃 ⇒ えんため ⇒ えんためガールズ。

頑張れ、自分……！

新作を書くたびに毎回全力を尽くしてはいるものの、自分が書いた作品に 100 %満足できることって珍しく、よくても 80 %程度の満足で終わってしまうんですね。

でも自分は、投稿します。

「100 %満足しなければ送らない」というスタンスもあるかもしれませんが、賞に送ってみることで、自分の作品に足りない物がはっきり見えてくることも多いです。

スポーツだってそうですよね。

練習はもちろん、本番を何度も経験することで、選手はレベルアップしていきます。

それでまあ、80 %の出来だと知りつつ、その作品を投稿するんですが。

しかしやっぱり、新人賞の壁は厚く、手厳しいコメントが返ってきます。

そういう状態で評価シートを読むと、「やっぱりそうだよ」と深く納得できるんですが、それと同時に「自分はこんなものではない」という激しい悔しさが湧いてきます。

何が悔しいって、その作品が 100 %ではないことを、すでに自分でわかっている点。

……………。

こういう時って、どうしたらいいんでしょうね？

評価シートに納得できないのではなく、納得できる故に、もどかしくて仕方がないという精神状態。

まあ答えはすでにわかっていて、自分の作品を 100 %にして送るしかないわけですが、投稿を始めてから四年がたった今もまだできないでいる部分です。

この作品は、自分が書きたいことを 100 %書き切った作品だ。

完成後にそう思える作品が書けるよう、今後もさらに精進していきたいです。



2/15 放送予定の四大陸エキシビションは、フジテレビ（関東地方）でしかオンエアされないことを知り、本気で落ち込んでいる常木らくだです。

なんで……。

大阪開催なのに、関東ローカル……。

次の瞬間、「こうなったら東京の兄に頼むしか！」と思ったものの。

うちの兄の性格を考えると、テレビ番組を録画して送るなんて面倒なこと、何があっても絶対にしてくれないと断言できる。

残念です。

ただひたすらに残念です。

幼少の頃、兄の好感度をもっと積極的に上げておけば、結果はあるいは違ったかもしれないのに……！

後悔先に立たずとは、まさしくこのこと。

兄に対しては、秘密の日記を読まれたというトラウマがあって、子供の頃はひたすら怯えながら過ごしていましたからね。

そう思った後に気付いたんですが、兄はテレビを持っていないと言っていたので、好感度うんぬん以前にどうせ無理な話だったというオチです。

それにしても、関西テレビも BS フジもオンエアなしで、フジテレビだけの関東ローカル放送なんて……。

深夜の変な時間帯であっても、放送すれば、需要はあると思うんですけどね。

ここに書いても仕方のないことですが、ひたすら残念でなりません。

SD 一次の評価シートが届きません。

返信用封筒は 100 %入れたし……。  
規定違反もしていないはずだけど……。

まあ「今すぐ評価シートを読んで改稿したい」という作品ではないので、そのうち届けばいいんですが、他の投稿者さんにきていて自分にきていないと不安になりますよね。

あとやっぱり、一次落ちの評価シートを読むと正直結構へこむので、早く済ませて精神状態を立て直したいという願望が。

一次落ちの評価シートって、正直読みたくないですよね？  
そう思ってるの、自分だけ？

「一次落ちでも評価シートがある」という理由で SD に送っているのに、その評価シートが読みたくないなんてかなり矛盾していますが、やっぱり……ね？

振られた相手から、振られた理由を説明されるわけだから、気が重いのは当然で。

まあでも、読めば勉強になることは事実なので、早いところ「落ち込み⇒成長」の過程を済ませてしまいたいところです。

10 日と 11 日は休日で配達がないはずだから、今日届かなかったということは、火曜日以降になるのかな？

郵便屋さん、ハヤクキター！

あとそれから、「ブログに書きたいこと」が今ものすごく溜まっているので、早いうちにちゃんとした形にしてこの場で発信したいと思います。

迷走系ワナビブログ、「らくだ図書館」。

過去の記事を一か月毎に、電子書籍で配布しているのは、散々宣伝している通りです。

が！

無料配布の電子書籍ではなく、製本版（有料）の「らくだ図書館」を、わざわざ注文していただいたというメッセージをいただいて……。

すみません。

ごめんなさい。

こんな素人の趣味ブログにお金を払わせてしまったと考えれば、心の底から感謝の念が起こると同時に、正直申しわけない気分です。

もちろんブログは真剣に書いているし、本気で作家を目指している以上は、商品として売れるレベルの文章を書きたいと願っています。

でもこのブログは、一冊の本になることを想定していないので、正直言って内容が雑多すぎるというか……。

雑談やら、ドラクエ語りやら、個人的な外出記事までありますからね。

なので、「このブログも本気で書いてはいるけれど、もっとちゃんとした投稿論を届けたい！」という気持ちが湧きました。

「ワナビの投稿論なんて誰得？」という意見もあるでしょうが、それを言い始めたら、「らくだ図書館」というブログは根本的に成立しませんからね。

というわけで。

近いうちに、何らかの形で、本気の投稿論を発信できればいいなと思います。

2月8日～11日に開催された、四大陸フィギュアを見てきました。

今回は大阪開催なので、家から行けてラクでした。

中央体育館は交通の便もよく、なみはやドームより椅子も立派で、個人的に好きです。

会場入口は、こんな感じ。

地下鉄中央線、朝潮橋駅の目の前です。



なんといっても、日本が表彰台を独占という、女子の快挙は圧巻でした。

テレビでも大々的に放送されていましたが、苦労してチケットを購入した甲斐があったな、と思いました。

今後も敏腕 F5 アタッカーとして、チケット購入の腕を磨きたいです。

そして、男子。

新聞には「総崩れ」とか書かれていますが、決してそんなことはなかったと思います。

確かに、スコアは出なかったかもしれませんが……。

それでも、ジャンプを決めるだけが、フィギュアスケートではないですね。

コンディションが万全とは言えない中で、それでも本気で真剣に戦っている姿は、心を動かされるものがありました。

次の試合は、来月の世界選手権！

カナダ開催なので会場へは行けませんが、テレビの前で全力で応援しようと思います。

何かにすごく感動した時。

普通はその感動をそのまま表現するしかないですが、私たち小説投稿者という存在は、その感動をストーリーの中で再現できます。

たとえば、スケートを見て感動したとします。

自分の心を観察していて思ったんですが、その感動って、「書く原動力」にかなり直接的につながるなあと。

もちろんスケート観戦の興奮を直接小説にするのではなく、全然違うストーリーの全然違うシチュエーションで再現するわけですが、表現したい気持ちって結局は自分の経験から出てくるものだと思うんですよね。

どれだけ語彙が豊富な人でも、知らない感情は表現できない。

だからこそ色々な経験をして、色々な感情を知っておくことは、表現者を目指す上でとても大切なことだなあと。

「伝えたい」「知ってほしい」「共有したい」……。

そういう気持ちがなければ、そもそも小説って書けませんし。

この週末は、中央体育館に通いながら、そんなことを考えました。

あとそれから、感動を別の形で再現できるという点で、自分は文章を書く人間で本当によかったな、とも思いました。

プロでもないのにこんなことを考えるのは、もしかすると寂しい自惚れかもしれませんが、「文章を書く能力」は自分の宝だと思っているので、この先何があっても一生大切にしていきたいです。

三日前の記事に、「製本版（有料）を購入していただいて、嬉しくも申しわけない気分だ」と書いたんですが。

ブログを書いている時、その部分が「性本番（有料）」に変換されて、自分のパソコンにドン引きしました。

そうか……。

このパソコンとは、10年近い付き合いなのに、本番は有料なのか……。

じゃないっ！

その誤変換は、ひどすぎるぞ！

あとそれから、「電撃に送れそう」と書きたかったのに、「電撃に遅れそう」に変換されて、執筆意欲がリアルに萎えました。

お前、やめろよ！

縁起でもないことを言うな！

なんか、アレですね。

物や家電製品を擬人化してキャラにするのは、最近のマンガやラノベによくあるネタですが、仮に自分のPCがキャラになって目の前に現れても、きっと友達になれないだろうなと思いました。

なにせ、本番は有料ですし……。 (しつこい)

それはさておき、今書いている作品。

この週末は書けませんでした、やっと20枚を越えたので、2月中には仕上がりそう。

この後も作業が詰まっているので、早めに完成させたいところです。

あと二週間、頑張るぞー！

「知らない感情は表現できない」は間違いなく真実だと思うんですが、逆に言うと、作中で表現できる感情は自分が知っている感情だということです。

これまでたくさん小説を書く中で、喜怒哀楽さまざまな感情を表現してきましたが、それらが自分の人生経験から生み出されたものだと思うと、なんだかちょっと胸が熱くなってしまいます。

なんて言うのかな。

作中のキャラクターは意図的に作っている存在で、決して自分自身ではないわけですが（性格も考え方も違いますし）、そこで表現する感情は結局自分の感情に他ならないと思うんですよ。

まあ、ね。

それだけ気持ちを込めまくって、それでも一次落ちするってことは、相手にその感情が伝わらなかったんでしょうけれど……。

書きたい内容と、それを表現する能力。

今はまだ、書きたい内容の大きさに対して、自分の能力が負けている状態だと思うので、書きたいことを表現しきる力を習得したい限りです。

ということ、本当は昨日書くつもりだったんですが、「性本番」があまりにも衝撃的すぎて、その記事を優先させてしまいました。

これはもう、マイベスト（ワースト？）誤変換に入るレベルだ……。

まあとにかく、小説の中で表現する感情は、結局は自分自身の感情だと思うので、これからもたくさん感動して色々な感情を知っていきたいです。

GA 後期が全滅だった常木らくだを嘲笑して楽しむ会場はこちらです。

というわけで。

四年連続一次通過という目標は、残念ながら達成できませんでした。

まあでも、別に強がりとかではなく、今回はある意味仕方なかったな一と。

落ちたこと自体は確かに残念なんですけど、あの内容が GA で無理であろうことはわかっていたし、書いて送ったことはまったく後悔していないので、言ってみれば予定通りの結果でもあります。

あ、でも。

本命作品が落ちたのは仕方なかったと思うけど、思いっきり「GA 向けに」と思って用意した作品も、一緒に一次落ちしてしまいました。

その作品は正直言って鉄板の一次通過だと思っていたんですが、これはもう、自分の GA 理解が根本的に間違っているっていうことですね。

アレが通らなかったら、この賞にはもう何も投稿できないっていう、それだけ GA に寄せたつもりの作品だったんですけどね……。

とにかくまあ、そんな感じで。

これで結果待ちは SD だけになったので、スーパーダッシュの三次結果がわかり次第、通過歴を書き込んで春の賞に送っていこうと思います。

どれだけ落ちてても、自分がやめない限り、投稿生活に終わりはありませんからね！

落選して自信を失うのではなく、落選から得た教訓に感謝しつつ、これからも引き続き頑張っていきたいです。



J-SPORTS のフィギュアニュースで知ったんですが、来シーズンは全日本選手権と世界選手権の両方が、さいたまスーパーアリーナで開催されるとか。

ちょ、両方！？

さいたま無双、マジパネェ……！

片方でも嬉しいのに、まさか両方決まるなんて、うらやましいなー。

それから今日は、先日の四大陸の気に入った部分を編集して、自分の iPhone に入れるという作業をしました。

こういう土曜日、最高に幸せです。

これ以上望むことはない、かなり本気でそう思います。

もちろん改めて言うまでもなく、自分の最大の趣味は小説書きで、一番の目標は受賞して本を出すことなんです。

とはいえ、仮にそれが叶わなくても、別に不幸ではないと思うんですよね。

結果はいつだって追い求めています、文章を書くことが自分の中で大切すぎる故に、結果がなくてもある意味幸福に感じます。

それにしても、来シーズン。

例のさいたま無双に加え、NHK 杯が東京で、ファイナルが福岡で、四大陸が台北ってことは、中部や関西では大きな大会がまったくないわけで……。

まあでも、いずれも行こうと思えば行ける距離なので、さすがに気が早すぎるとは思いますが、来シーズンの開幕が今から非常に楽しみです。

どれだけ落ちても、自分がやめない限り、投稿生活に終わりはありませんよね！

と、一昨日のブログに書いたんですが。

それは逆に言うと、「自分さえやめたければ、いつでもやめていい」ということです。

小説投稿だけに限ったことじゃなく、このことは、すべての情報発信に言えますよね。

ブログもそう。

ツイッターもそう。

電子書籍の配布もそう。

今って誰でも自由に情報発信することができますが、誰でも自由にできるが故に、たいていの情報は埋もれてしまうと思うんですよ。

発信するのは簡単だけど、発見してもらうのは難しい。

そういう状況だからこそ、思うようになりターンがなく、がっかりする時もあります。

でも、やっぱり。

自分を発見してもらうには、発信を続けていくしかないと思うので、投稿もブログも電子書籍も、これからも続けていきたいな、と。

どれだけ落選しようが、伝えたいことがあるうちは、やめられませんよね。

そうやって投稿に対する決意を新たにしつつ、机の奥からドラクエ7を取り出して、今日からプレイを始めたわけですが。

だって……！

だってなんだもん……！

これで春の投稿・総崩れフラグが立ちましたが、適度に現実逃避(?)しながら、ゆるゆる頑張ろうと思います。

近所のスーパーで思ったんですが……。

値下げした時は「嬉しい三割引き！」って大々的に書くのに、値上げした時は「悲しい三割増し！」って書かないですね。

まあ、当たり前なんです。

そんなことを堂々と書いたら、大ブーイング間違いなしです。

それはそうと、自信作が一次落ちした時って、本当に落ち込んでしまいますよね。

試験に落ちるのも当然ショックなんですけど、小説投稿は試験と違って自分の全人格をぶつけるものなので、それが否定された時のショックも半端ではないというか。

まあ、でも。

ショックといえばショックに違いないんですが、今は投稿初期の頃と違って、そんな自分をいとしむ余裕が生まれました。

一次落ちがいとしいと言っても、いつものドMプレイではなく、真面目な話です。

なんかこう、ね。

心底落ち込むっていうのは、それだけ真剣な証拠だよな、と。

真剣にやっているからこそ、いい方にも悪い方にも、感情の振れ幅が大きくなる。

恋愛だって仕事だって、結局はそうですよね。

何もかもどうでもいいと思っていたら、落ち込むことさえできないので、それほど真剣になれる趣味があることに、まずは感謝したいです。

そんなこんなで、今書いている物も、少しずつ形になってきました！

完成まではまだ長いですが、自分自身も読みたいので、早く仕上げたいと思います。

だいぶ前に小説投稿を始めようと思った時、各賞の代表的な受賞作を、勉強のために一冊ずつ読んでみました。

電撃 『狼と香辛料』  
えんため 『バカとテストと召喚獣』  
MFJ 『ゼロの使い魔』  
富士見 『スレイヤーズ!』  
スニーカー 『涼宮ハルヒの憂鬱』  
SD 『銀盤カレイドスコープ』

『ゼロの使い魔』が受賞作ではないのと、『スレイヤーズ!』がちょっと古いことを除けば、その賞の看板作品といえるチョイスかな、と。

この中でどれが好きだったかというと、ダントツに『銀盤カレイドスコープ』です。

そもそも自分はスケート観戦が趣味なんですけど、それ故「ラノベでは満足できないだろう」と思って、ずっと敬遠していたんですね。

しかし実際に読んでみれば、『銀盤カレイドスコープ』はフィギュアスケートの実際のルールを一切変更しておらず（今は採点方式が変わりましたが）、そこがまず素晴らしいなと。

試合のたびにショートとフリーの両方を書いて、さらにヒロインに加えライバルの演技も書くのは、相当大変なことだと思うんですが……。

それにも関わらず、グイグイと先を読ませる勢いがあって、「こういう風には書けばいいんだ」と参考になることしきりでした。

あとやっぱり、自分の好きな作品を読むと、執筆意欲が湧いてきますよね。  
そういう意味で、『銀盤』と『マリみて』は、自分の中で手放せない作品です。

ちょっと前のブログに、自分は小さい頃から日記を書き、それを兄に読まれて恥ずかしい思いをしたって書きましたよね。

その話には、実は続きがあります。

自分は兄の行為がどうしても許せなく、しかし年齢の差もあってケンカをしても絶対に勝てないので、日記を使って反抗しました。

つまり、読まれることを見越した上で、日記に兄の悪口を書きました（爆）

\*\*\*\*\*

日記を勝手に読まれたことで、自分の心はとても深く傷付いた。  
他人の日記を無断で読むなんて、人として最低な行為だと思う。  
もう二度と読んで欲しくないし、できることなら謝って欲しい……。

\*\*\*\*\*

こんな感じ。  
メッセージだとバレないように、あくまでもひとりごと風に。

しかしその記事は読まれなかったようで、結局ノーリアクション……。

それでまあ、読まれなければそれでいいやと思って、また恥ずかしいポエムを書いていたら、その部分はバッチリ読まれて笑われたという。

何なの！？  
どうすればいいの！？

お互い大人になってからは、さすがにそんなことはなくなりましたが、そんな自分の日記はある意味ちょっとしたデスノートでした。

それにしても、他人の日記を勝手に読むのは、明らかにルール違反ですよ！

スーパーダッシュの三次発表がありました。

アイヤー！

ワタシの名前がないアルヨー！

というわけで。

スーパーダッシュの成績は、「三次落ち」に確定しました。

落選してしまったことは残念ですが、二次を突破できたことは大きな励みになったので、めげずに次回も頑張りたいです。

それから、評価シート。

一次通過と二次通過では、体裁が違うんでしょうか？

過去に経験がない手前、自分にはわかりませんが、届くのが楽しみです。

あ、ちなみに。

一次落ちの評価シートは、まだ手元に届いていません。

今月の「編集部から」に、まだ全部は発送していないと書いてあったので、そういう意味ではひとまず安心しましたが……。

その作品の評価を確認してから、三月に書く物を決めようと思っているので、早く届いて欲しいところです。

それから、現在執筆中の物は、今の段階で 70 枚書けました。

予定通り今月中には終わりそうなので、早く印刷して紙で読み直しをしたいと思います。

頑張るぞー！

『このライトノベルがすごい！』大賞。

今回自分は不参加でしたが、一次の結果を見てきました。

応募総数 424 本

一次通過数 53 本

一次通過率 12.5 %

GA が約 3 割なのに対し、このラノは 10 %強ということで、かなりの「狭き門」です。

まあ自分は、その GA でもあっさり落選したけどね！

ダメ元投稿ではなく、渾身の自信作だったんだけど！

しかしこのラノは、他賞に比べると知っている名前が極端に少なく、通過リストを見てもアウェイな感覚をひしひしと感じます。

おそらく有名な通過者さんもいるのだと思いますが、やっぱり自分とは投稿テリトリーが違うのかなあ、と。

ええ、そうです。

去年のこのラノで、5 作が一次落ちしたことを逆恨みしていますが、何か問題でも？

「毎年この賞で一緒になる」とかだと、確実に相手の名前を覚えるんですが。

自分が通ったことのない賞は、やっぱりアウェイな感じです。

とまあ、そういう感じで。

SD で落ちたことで発表待ちの賞はなくなったので、これから訪れる春の締切りラッシュに向けて、気持ちを切り替えて頑張ろうと思います。

直近では、3/15 の「なろう」だな……！

そうこうしているうちに、SD の評価シートが届きました。

三次落ちしてショックを受けた翌日に、一次落ちのダメ出し評価シートが届くとか、意図的なコンボ攻撃としか思えない。

……………。

まあ実際はそんなわけなく、偶然に決まっていますが。

それでまあ、戦々恐々としながら読んだわけですが、一次落ちだった割にはそれなりに評価されている部分もありました。

ダメ出しもありましたが、執筆意欲が下がるような内容ではなかったので、その部分にはホッと安心。

なんか、こうね。

「あまりにもヒドイ内容だったから、逆に、仕方なく褒めてるんじゃない？」という意見もあるかもしれませんが、本当に見込みがないと思われてしまった作品については、そんな社交辞令さえも言ってもらえないのが、小説投稿という世界ですよ。

何度か投稿経験を重ねれば、それはすぐにわかることです。

いい部分が一つも挙げられていなく、最初から最後までダメ出しとか、そういう評価シートがいかに多いことか……。 (まあ自分が悪いんですが)

だからこそ、一次落ち基準の評価であろうと、褒められた部分は伸ばしたいな、と。

とにかく、これで一通はゲットできたので、残りの評価シートも楽しみにしたいと思います。



昨日 SD の選評が届いたと書きましたが、その中にこういう内容がありました。

『ファンタジー作品の世界観の描写は、書き過ぎると作品の魅力を下げてしまいますが、書き過ぎずバランスが取れていました』

なんとも嬉しい、お褒めの言葉です。

だけど……！

実際はバランスではなく、力量が足りないから、書けなかつただけだよ……！

これは、あれですね。

近くに泣いている女の子がいて、でも面倒だから放っておいたら、

「怒ったり理由を聞いたりせずに、黙って泣かせてくれるんだね。

えへへ、らくだ君って優しいから大好き……！」

力不足で出来なかったことを、相手はプラスに受け取って、好感度グンとアップ↑↑↑

そういうプラス評価を受けておきながら、その作品は結局一次落ちしてしまったので、実際は直すべき箇所が山のようにあるわけですが。

まあとにかく、一番怖かった評価シートが無事に届き、残り二作はそれなりに「書けた」と思っている内容なので、到着をまったり待とうと思います。

そして今書いている物は、75 枚まで到達しました。

常木らくだは、果たしてあと 4 日で、この話を仕上げられるのか……！

待て、続報……！

実際は誰も待っちゃいないと思いますが、そう考えて自分の気持ちを奮い立たせ、残り 5 枚を頑張ろうと思います。

そうこうしているうちに、SD の評価シートその 2 が届きました。

……………？

消印は両方 21 日なのに、片方が 23 日に届いて、片方が 25 日に届く謎。

そして、内容なんですが。

ストーリーがどうこう以前に、作品のキーとなる設定を根本的に否定されてしまって、コメントを読み終わった後ひたすらショボーンとなりました。

これ……。

電撃では三次選考まで進んで、内容も褒められたんだけどな……。

こうなるともう、どちらのコメントを信じるかによって、直すべき箇所が根本的に違ってきますよね。

そういうことは往々にしてあるので、一度落ちたからといってすぐにお蔵入りにするのではなく、いくつか投稿してみて色んな評価シートを手に入れるのが得策だと思います。

他社で落ちた作品をそのまま投稿するのは、出版社側にとってはおそらく迷惑な行為かと思いますが、そうはいつでも自分の成長の方が大事ですもんね。

そうやって色々な評価を知ることで、自分の書きたい物はどの賞の方向性に近いのか、そういうことも見えてくると思いますし。

まあ、とにかく。

今回の選評でやる気が下がった量以上に、先週の選評でやる気が上がった量の方が大きいので、めげずに今後も頑張りたいと思います。

そうそう。

いたばし国際絵本翻訳大賞の結果が、板橋区のホームページに掲載されました。

⇒ 結果ページ

[http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c\\_kurashi/051/051183.html](http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/051/051183.html)

SD の話題ですっかり触れるのが遅くなりましたが、実際は先週の金曜日（22 日）に発表されております。

あ、あれ？

受賞者の発表だけなの？

……というわけで。

自分の作品が二次通過したかどうかを知るには、郵送の結果通知を待たなければならないようです。

これって結構、新鮮なドキドキですね。

発表日に F5 アタックを仕掛けたり、早売りフラゲ目的に大きな本屋を徘徊したり。

「郵送で通知」だと、そういう努力（？）ができないので、黙って待つしかないという。

まあでも、講評で指摘のあった文章はしっかり訳せていたはずなので、二次通過していることを願いつつ、郵便の到着をまったり待とうと思います。

そして、次回開催も決定したようですね！

翻訳系の賞って単発の場合が多いんですが、いたばしとアルクは毎年開催されている伝統のある賞なので、仮に二次通過していなくても、次回もまた参加しようと思います。

最近、イジメや体罰が社会的な問題になっているせいか、ブログの編集画面に注意喚起のメッセージが表示されるんですよね。

「あなたのブログは、本当に大丈夫ですか？」とか。

「何気ない発言で、他人を傷付けていませんか？」とか。

うーん……。

このブログは、問題ないよね……。

何気ない発言で、自分を傷付けている記事は多数ありますが、それは単なるロンリー・ドMプレイですからね！

はい。

ここ、今日のオチです。

というわけで、オチがもう出てしまいましたが、2月に書いていた物がようやく完成に至りました。

うっしゅー！

これでようやく、ドラクエ7を再開！

……は、できないんですけどね。

何しろ今月は春の投稿と関係ない物を書いたので、「ビーンズ、電撃、なろう、えんため、えんためガールズ」という怒涛の予定を、これから消化しなければならないという状況で……。

まあでも、なろうの締切りも延期されたことだし、一つ一つ確実に。

より多くの賞の通過リストに、自分の名前を載せることができるよう、今から全力で頑張ります……！

いたばし絵本の結果が届きましたが、自分は二次通過していませんでした。  
落ちたことは残念ですが、次回もまた頑張ります。

それはそうと！

当ブログ『らくだ図書館』は、開設 14 か月を迎えました！

パチパチパチ。

というわけで。

すでに毎月恒例となっている、電子書籍版のリンクです↓↓↓

<らくだ図書館 (14)>

<http://p.booklog.jp/book/67287>

え？

この『らくだ図書館』は、いつまで続くのかって？

14 か月も毎日更新してきて、そろそろネタ切れだろう、って？

いやいや！

読んでくださる方がいる限り、永遠に続けますよ！

だから……、逃げるなよ？

オレを本気にさせたのは、他でもないお前なんだぜ？

と、無意味に色男な口調で発言しましたが、PV と書く意欲はどちらも比例して上がるので、これからもバンバンアクセスしてくださいまし！

とまあ、そういうわけで。

こういうユル～イ感じのブログですが、今後もお付き合いいただければ幸いです。